

# 境港市まちづくり総合プラン具体的施策の取組状況

基本目標 1 広域連携による一体的発展

具体的施策 (1) 物流拠点「境港」の機能強化・輸出入の拡大

## 施策の展開方針

①機能強化に向けた要望活動	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省本省及び鳥取・島根県選出国会議員への要望活動3回実施した。(H30.7.3、H30.11.16、H31.2.7、H31.2.19)</li> <li>■要望項目               <ul style="list-style-type: none"> <li>①竹内南地区貨客船ターミナル整備事業の予算確保と早期完成</li> <li>②北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備</li> </ul> </li> <li>■要望者               <ul style="list-style-type: none"> <li>中海・宍道湖・大山圏域市長会、中海・宍道湖圏域市議会議長会、中海・宍道湖圏域商工会議所、境港流通プラットホーム協議会、環日本海経済活動促進協議会</li> </ul> </li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>竹内南地区貨客船ターミナルが計画（H27～H32）どおり整備されるように、要望活動を継続して実施する。</li> </ul>		

## 施策の展開方針

②内航RORO船定期航路開設	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>境港流通プラットホーム協議会が中心となり、苫小牧港～敦賀港間の内航RORO船定期航路を境港まで延伸するトライアル輸送を実施した。</li> <li>■輸送実績：平成28年度：2回、平成29年度：4回、平成30年度2回</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀港一博多港間の定期航路が就航したことから、従来の敦賀港・苫小牧港方面だけでなく、新たな貨物を開拓し、敦賀港一博多港間の定期航路の途中寄港を要請する。</li> </ul>		

## 施策の展開方針

③航路の利用促進と流通機能の向上	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携して、船社・物流関係企業・荷主・寄港地等と接触を図り、航路の活性化に向けて取り組んだほか、鳥取県と吉林省の姉妹都市提携でさらなる交流の発展が期待される中国東北部へのトライアル輸送を行い、物流ルート構築を模索した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携して、既存の航路に加え、新たに就航した中韓定期コンテナ航路の更なる周知を行うとともに、船社・物流関係企業・荷主・寄港地等と接触を図り、航路の活性化に向けて取り組む。境夢みなとターミナルを活かした物流ルートの構築や、1月から就航する米子ー上海定期便も活用した上海航路の利用促進及び中海・宍道湖・大山圏域市長会で提携する台北市との交流や物流ルート構築を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④ポートセールスと貿易支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携の下、境港利用促進懇談会や企業訪問等を通じて、港湾機能や航路の充実等の情報を的確に関係者に周知し、他港に流れている貨物の境港へのシフトや災害時のリダンダンシーとしての境港利用を図った。また、中国との新規航路開設の可能性を調査を行った。</li> <li>※リダンダンシー…信頼性を増すために、何かに備えて余裕を付加すること。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、関係機関との連携の下、港湾機能や航路の充実等の情報を的確に関係者に周知し、他港に流れている貨物の境港へのシフトや災害時のリダンダンシーとしての境港利用を図る。新たな物流ルートの構築やビジネスマッチング等の貿易支援によって、新たな貨物を創出する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤境港ふ頭再編改良事業の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国及び山陰両県選出国會議員への要望活動の実施（再掲）。</li> <li>・日本港湾協議会等、各種港湾関係機関・団体の会議、イベント等への出席及び参画し、国土交通省や港湾関係団体への境港の重点整備を働きかける。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き要望活動（再掲）に取り組むとともに、港湾関係機関・団体の会議・イベント等に継続して出席・参画する。</li> </ul>		

具体的施策	(2) 環日本海定期貨客船の利用促進
-------	--------------------

施策の展開方針		
①安定運航のための支援	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立安定化支援として鳥取県と中海・宍道湖・大山圏域市長会で協調して境港～東海間（48往復）の運航経費の一部（1往復につき100万円）を助成。鳥取県が7割（3,360万円）、市長会が3割（1,440万円）を負担。市長会の中の内訳は、米子市・松江市・出雲市・安来市は定額で計700万円を負担し、境港市は残額（740万円）を負担。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年6月末までは、支援を継続する方針。その後については、運航会社の経営状況を注視しながら、運航会社及び鳥取県との協議を踏まえ判断する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②利用促進活動の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海・宍道湖・大山圏域の行政担当者や境港貿易振興会等の関係機関と連携して航路の周知や貨物の創出に取り組んだ。</li> <li>・鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。また、国際定期便利用促進協議会を通じ、グループ旅行への支援や旅行会社への商品造成支援を実施した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き中海・宍道湖・大山圏域の行政担当者や境港貿易振興会等の関係機関と連携して航路の周知や貨物の創出に取り組む。</li> <li>・引き続き、中海・宍道湖・大山圏域市長会が、境港貿易振興会等の関係機関と連携するとともに、国際定期便利用促進協議会を通じ、旅行商品の造成やグループ旅行への支援等により、課題となっている日本人旅客の利用促進に取り組む。</li> </ul>		

具体的施策	(3) 米子鬼太郎空港の利用促進
-------	------------------

施策の展開方針

①国内定期路線の維持及び利用促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子空港利用促進懇話会を通じて鳥取県及び関係団体と連携し、旅行会社への商品造成支援等を行った。</li> <li>・米子空港ビル株式会社との連携により、空港のPRを通じて航空路線の利用促進を呼び掛けている。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き全日空に対し路線充実の要望を行うとともに、リニューアル工事も完了してさらに利便性が向上する米子鬼太郎空港を、米子空港利用促進懇話会や米子空港ビル株式会社等、関係機関と連携してPRし、利用促進を図っていく。</li> </ul>		

施策の展開方針

②国際定期路線の維持及び利用促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際定期便利用促進協議会を通じ、グループ旅行への支援や旅行会社への商品造成支援を行った。</li> <li>・平成30年度の搭乗者数は103,908人（ソウル便：73,041人 香港便：30,867人）と過去最多を記録した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・円高ウォン安及び日韓関係悪化の影響により10月からソウル便の運休が決まったが、令和2年1月から就航する上海便の運航が決まり、週3便化となった香港便とともに、搭乗率の向上を目指し、引き続き国際定期便利用促進協議会等、関係機関と連携し利用促進を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針

③国際チャーター便の利用促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子空港利用促進懇話会を通じ、国際チャーター便等促進支援事業として国際チャーター便を利用した送客を図る旅行会社への支援等を行っているが、平成30年度は実績に結びついていない。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き米子空港利用促進懇話会等、関係機関と連携してチャーター便の誘致活動及び運航への支援を行う。</li> </ul>		

具体的施策	(4) 市民レベルの国際交流の促進
-------	-------------------

施策の展開方針
---------

①交流事業の促進と支援	評価	A
-------------	----	---

平成30年度取組実績
------------

・引き続き珥春市からの国際交流員を招致し、中国語・韓国語講座や園児との交流に従事したほか、講師を引き受け友好都市について紹介する等市民レベルの交流の促進に取り組んだ。また、韓国からの国際定期航路を利用した市民交流団体の受け入れに対する協力を行った。

・鬼太郎カップ駅伝競走大会に韓国・ロシアから駅伝チームを招き、駅伝大会への参加及び小学生との交流を行ったほか、民間団体が実施する日韓高校生サッカー大会の運営を支援した。また、クロアチアを拠点に活動するセーリングチームが市内でキャンプを実施するのにあわせ、地元選手へのセーリング指導、市民歓迎会、中学校訪問を実施し、市民と選手との交流を図った。

令和元年度以降の取組（予定）
----------------

・珥春市からの国際交流員の招致を継続し、市民レベルの交流の促進に取り組むとともに、実際の交流の基礎となる国際定期航路の維持拡充に取り組み、補助制度等を通じて、市民レベルの交流を後押しする。また、環日本海拠点都市会議に新たに設置される実務者会議に参加し、更なる交流を推進する。

・鬼太郎カップ駅伝競走大会に韓国・ロシアから駅伝チームを招き、駅伝大会への参加及び小学生との交流を行うほか、民間団体が実施する文化・スポーツ交流事業を支援する。

また、クロアチアを拠点に活動するセーリングチームが市内でキャンプを実施するのにあわせ、選手と市民との交流を図る。

施策の展開方針
---------

②言語や文化の相互理解の促進	評価	A
----------------	----	---

平成30年度取組実績
------------

・珥春市からの国際交流員による中国語講座や交流事業を通し、地域における他国の文化の理解や、市民レベルの交流を通じた相互理解の促進に取り組んだ。また、外国人技能実習生との交流事業を引き続き実施するとともに、日本人ボランティアの協力の下、市内在住外国人のための日本語教室を開設し、外国人住民の日本や日本語に対する理解を深めるのと同時に、日本人の在住外国人に対する理解を深めた。

令和元年度以降の取組（予定）
----------------

・引き続き、珥春市からの国際交流員による中国語講座や交流事業を通し、地域における他国の文化の理解や、市民レベルの交流を通じた相互理解の促進に取り組むとともに、補助制度等を通じて市民レベルの交流を後押しする。また、外国人技能実習生との交流事業及び日本語教室を引き続き実施するとともに、外国人住民が地域に溶け込むための課題解決に積極的に取り組み、在住外国人・日本人間の相互理解を推進する。

具体的施策	(5) 港湾周辺区域の賑わい創出（クルーズ客船受入、水族館ほか）
-------	----------------------------------

施策の展開方針
---------

①ポートセールス及び観光プロモーションの推進	評価	A
------------------------	----	---

平成30年度取組実績
------------

・クルーズ客船の寄港時に二次交通の確保や観光案内、中海・宍道湖・大山圏域市長会でのクルーズ客船おもてなしを行ったほか、「SAN-INまんなかクルーズファン」によるお見送り等を行った。

※30年度寄港回数：37回、乗客数61,148人

令和元年度以降の取組（予定）
----------------

・引き続き中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、地域の文化や伝統芸能等を披露し、おもてなしを行うとともに「SAN-INまんなかクルーズファン」によるお見送り活動の充実を図り、乗船客の満足度を高め、寄港回数の増加を目指す。

施策の展開方針		
②外国人観光客受入体制の整備	評価	A
平成30年度取組実績		
・クルーズ客船寄港時に岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や外国語対応が可能な観光案内デスクの設置、通訳案内ボランティアの確保等により外国人受入体制の整備を行った。		
令和元年度以降の取組（予定）		
・引き続きシャトルバスによる二次交通の確保や外国語対応可能な観光案内デスクの設置、外国語表記の推進等を行う。		

施策の展開方針		
③外国人観光客対応力の強化	評価	A
平成30年度取組実績		
・クルーズ客船の乗客のためのシャトルバスを運行したほか、水木しげるロードのブロンズ像の多言語紹介システムや水木しげる記念館の外国語音声案内のPRを行った。		
令和元年度以降の取組（予定）		
・引き続きシャトルバスを運行し、市内及び圏域での周遊性を高めるとともに外国人観光客の受け入れ態勢の整備を行う。		

施策の展開方針		
④水族館構想の検討	評価	B
平成30年度取組実績		
・官民で組織する「竹内南地区賑わいづくり検討会」での検討事項ではあったが、大きな財政負担が伴うことから、現状では見送ることとした。		
令和元年度以降の取組（予定）		
・実現可能性調査の結果を踏まえ、今後の財政状況を見極めた上で、慎重に検討していく。		

具体的施策	(6) インバウンド観光の推進
-------	-----------------

施策の展開方針		
①外国人観光客受入体制の整備[再掲]	評価	A
平成30年度取組実績		
・クルーズ客船寄港時に岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や外国語対応が可能な観光案内デスクの設置、通訳案内ボランティアの確保等により外国人受入体制の整備を行った。		
令和元年度以降の取組（予定）		
・引き続きシャトルバスによる二次交通の確保や外国語対応可能な観光案内デスクの設置、外国語表記の推進等を行う。		

施策の展開方針		
②外国人観光客対応力の強化[再掲]	評価	A
平成30年度取組実績		
・クルーズ客船の乗客のためのシャトルバスを運行したほか、水木しげるロードのブロンズ像の多言語紹介システムや水木しげる記念館の外国語音声案内のPRを行った。		
令和元年度以降の取組（予定）		
・引き続きシャトルバスを運行し、市内及び圏域での周遊性を高めるとともに外国人観光客の受け入れ態勢の整備を行う。		

施策の展開方針		
③広域連携による一体的な観光振興	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海・宍道湖・大山圏域観光局を設立し、圏域が一体となって外国人誘客・国内誘客を行うとともに圏域の魅力アップにかかる施策を実施した。</li> <li>・圏域市長会事業として、本市を中心に5市が連携してクルーズ客船乗客に各市の伝統芸能披露や日本文化の体験等を実施した。</li> <li>・山陰観光連盟や大山山麓推進協議会主催等が主催する東京・大阪・名古屋での観光PRイベントに参加し、圏域を一体的にPRした。</li> <li>・中海・宍道湖・大山圏域市長会とJRが連携した京阪神地区主要駅での観光キャラバンに参加し圏域を一体的にPRした。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き中海・宍道湖・大山圏域市長会や大山山麓・日野川流域観光推進協議会などの関係団体と連携し、広域で連携を図りながら圏域の魅力アップにつながる事業への取り組みを行う。</li> </ul>		

具体的施策	(7) 中海・宍道湖・大山圏域連携事業の推進
-------	------------------------

施策の展開方針		
①活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマッチングを開催し、販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携などの促進につなげ圏域の活性化を図った。</li> <li>・国内交通網の充実に向けた高速道路や高速鉄道の早期整備に向けた要望活動を実施した。</li> <li>・境港クルーズ客船環境づくり会議を中心とした客船誘致に向け取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・台北市との新たな覚書の締結と県内企業や行政向けの台湾セミナーを開催し、台湾でのPRを目指していく。</li> <li>・引き続き、中海・宍道湖・大山圏域市長会構成市や境港貿易振興会等と連携し、境港の利用促進・クルーズ客船の誘致・交通網の充実に向けた要望等に取り組んでいく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三大都市圏（首都圏、関西圏、中京圏）の観光プロモーションの他、山陽圏や東北方面へ重点的にプロモーションを行った。また、外国人観光客の受入環境整備等、インバウンド対策に取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を中心としたインバウンド対策や（一社）観光局と連携し観光振興に取り組んでいく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境学習「中海・宍道湖自然体験クルーズ」の開催により、環境保護の意識高揚と圏域内外の交流人口の拡大が図られた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、圏域の豊かな自然環境等の学習及び関係機関と連携した情報発信を行う。</li> <li>・安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取り組みを行う。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④ともに歩む圏域づくり（連携と協働）	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山陰まんなか未来創造塾」に行政及び経済関係者が参加することで、圏域を担う人材育成、人的な交流を通じた広域的な人的ネットワークの構築に取り組んだ。</li> <li>・中海・宍道湖・大山圏域伝統芸能祭を開催し、各地域の伝統芸能を一堂に集め伝統芸能の伝承及び活用の気運を醸成した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、官民が連携した人材育成の研修、意見交換会、イベントにおける団体の招致・交流に取り組む。</li> </ul>		

具体的施策	(8) 国・県事業の促進（高速道路網整備、貨客船ターミナル整備ほか）
-------	------------------------------------

施策の展開方針		
①境港ふ頭再編改良事業の推進[再掲]	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国及び山陰両県選出国會議員への要望活動の実施（再掲）。</li> <li>・日本港湾協議会等、各種港湾関係機関・団体の会議、イベント等への出席及び参画し、国土交通省や港湾関係団体への境港の重点整備を働きかける。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き要望活動（再掲）に取り組むとともに、港湾関係機関・団体の会議・イベント等に継続して出席・参画する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②圏域内外を結ぶ高速道路ネットワークの整備	評価	A
平成30年度取組実績		
<p>【米子～境港間の高規格道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米子～境港間を結ぶルート案について、この圏域の将来を見据えたまちづくりの観点からの必要性や効果等を踏まえながら、関係する自治体と協議を進めた。</li> </ul> <p>※令和元年8月7日に鳥取県や米子市とともに、初めて国への要望活動を実施。</p> <p>【境港出雲道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート帯が決定している松江北道路(松江イングリッシュガーデン西側付近～川津IC間)の早期事業化などについて、事業主体である鳥根県に要望活動を実施。</li> </ul> <p>【山陰道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取西道路(鳥取西IC～青谷IC間)の早期供用や平成29年度に事業化となった北条道路(はわいIC～大栄東伯IC間)の整備推進、米子道路(日野川IC～米子南IC間)の付加車線の整備促進などについて、関係機関に要望活動を実施。</li> </ul> <p>※令和元年5月12日に鳥取西道路(鳥取西IC～青谷IC間 L=17.5km)が開通。</p> <p>【中国横断自動車道岡山米子線の4車線化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江府IC付近における付加車線設置検証区間の早期供用や蒜山IC～米子IC間の4車線化早期実現などについて、総決起大会の開催や関係機関に要望活動を実施。</li> </ul> <p>※令和元年9月9日に策定された「高速道路における安全・安心基本計画」により、概ね10年から15年の計画で全線が4車線化となることに決定。</p>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内外の「ひと」や「もの」の移動や流通の一層の利便向上を目指して、「米子～境港間の高規格道路」や「境港出雲道路」、「山陰道」「中国横断自動車道岡山米子線の4車線化」などの高速道路ネットワーク整備や機能強化について、引き続き、関係する自治体などと一丸となって、国や関係機関に要望活動を行っていきます。</li> </ul>		

基本目標	2 全国ブランド「さかな」と「鬼太郎」を生かした経済振興
------	------------------------------

具体的施策	(1) 高度衛生管理型漁港・市場整備の促進
-------	-----------------------

施策の展開方針			
①境漁港の高度衛生管理型漁港・市場の整備	評価	A	
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸送上屋・1号上屋新築工事を継続。</li> <li>・2号上屋耐震補強工事に着手。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港地区高度衛生管理型基本計画、特定漁港漁場整備事業計画に基づき、漁港・市場整備を進める。（陸送上屋・1号上屋が令和元年6月供用開始。2号上屋は耐震補強工事後、令和4年に完成予定。4～6号上屋は令和5年に完成予定。）</li> </ul>			

施策の展開方針			
②電動フォークリフトの導入支援	評価	A	
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸送上屋及び1号上屋で使用する電動フォークリフト38台を導入。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年に1台追加導入。</li> <li>・令和5年に4～6号上屋完成に合わせ、20台を導入予定。</li> </ul>			

具体的施策	(2) 境港ブランドの積極的情報発信
-------	--------------------

施策の展開方針			
①情報発信の充実	評価	A	
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロードに整備しているフリーWi-Fiにより、外国人を含めた観光客が情報収集だけでなく、水木しげるロードの魅力等の情報発信を容易に行える通信環境を提供した。</li> <li>・11月に東京都調布市で開催された「ゲゲゲ忌」、1月に京都市で開催された『怪フォーラム』に参加し、水木しげるロードをPRするとともに関係団体との交流を図った。</li> <li>・市内民間団体等と協力して「土曜夜市」や「妖怪ナイトウォーク」、「妖怪ハロウィン」などの集客イベントを行い県内外へ情報発信を行った。</li> <li>・水木しげる記念館のホームページをリニューアルするとともに、地元の民間団体がSNSを活用したフォトコンテストを開催するなど民間組織と連携し情報収集並びに情報発信を行った。</li> <li>・水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭等各種イベント開催を支援するとともに、産地協議会の活動を通じて、魚食普及、情報発信を実施。</li> <li>・市内の保育園等で、フィッシュキッチンやおさかな探検、ギンザケ集会、マグロ集会、カニ集会等食育活動を実施。沿岸漁業者と園児との交流事業を実施。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係団体等と連携を図り、情報発信に努める。</li> <li>・令和元年5月に第8回みんなで選ぶ境港の水産加工大賞を開催。</li> <li>・引き続き、観光や港湾関係のイベントと連携し、産地境港のPRを行う。</li> <li>・令和2年10月に開催予定の「Sae級グルメ全国大会」や「境夢みなとターミナル」供用開始に向けて、県内外のイベント等に参加し、PRを行う。</li> </ul>			

施策の展開方針		
②新たな賑わいの創出	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロード・リニューアルにより整備された「夜間演出照明」を活用し、約30年ぶりに復活した『土曜夜市』や『妖怪ハロウィン』など夜間イベントの開催により新たな賑わいを創出した。</li> <li>・夏季期間は、水木しげる記念館の開館時間を延長するとともに「妖怪文化伝承事業」として記念館前庭で記念館館長による「妖怪のお話」を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「夜間演出照明」を活用した夜間イベントを開催して夜の魅力を向上させ、通過型観光から滞在型観光へと移行を図る。</li> <li>・夏季期間の水木しげる記念館の開館時間延長及び「妖怪文化伝承事業」を継続して実施する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③観光客受入体制の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロードを「すべての人にやさしく誰もが楽しめる道づくり」をコンセプトにリニューアルするとともにバリアフリー化し、観光客受入体制の充実を図った。</li> <li>・クルーズ客船寄港時に岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や外国語対応が可能な観光案内デスクの設置、通訳案内ボランティアの確保等により外国人受入体制の整備を行った。</li> <li>・中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構から新たに圏域観光局を設立し、圏域が一体となって外国人誘客・国内誘客を行うとともに圏域の魅力度アップにかかる施策を実施した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き市内及び圏域での観光客受入体制を充実させる。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④水産物の販路拡大	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏、関西圏における商談会やイベント等に参加し、境港水産物等のPRを実施。</li> <li>・首都圏の百貨店等で境港水産物等をPRを実施。</li> <li>・沿岸漁業と水産加工会社が連携し、数が揃わない魚種をストックし、給食食材として提供。また、山陽、関西圏のスーパーとの取引を開始。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、首都圏、関西圏における商談会やイベント等に参加し、境港水産物等のPRに取り組む。</li> <li>・海外や県外からの市場見学ツアーを充実させ、販路拡大に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤水産物のブランド力強化	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭等各種イベント開催を支援するとともに、産地協議会等の活動を通じて、産地境港を全国に情報発信。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年6月に供用開始となった、高度衛生管理型市場のシンボルマークなどを活用し、産地境港を全国発信。</li> <li>・ベニズワイガニの新料理の開発に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑥ふるさと納税制度を活用した情報発信	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の外部ポータルサイトで、特集等のページを作成し特産品（境港ブランド）の情報発信に取り組んだ。</li> <li>・返礼品カタログを前年度寄附者に送付するとともに、境港出身者が集まる会での配布や自治体アンテナショップ、市内の観光客が集まる施設等へ配架するなど市のPRの機会を捉え、情報発信に努めた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、インターネットやカタログ送付による特産品（境港ブランド）の情報発信に取り組む。</li> <li>・境港ならではの魅力あふれる特産品を提供し、全国へ向けたPRに取り組む。</li> <li>・水木しげるロード等で観光客にPRチラシ等を配布し更なるPRに取り組む。</li> </ul>		

具体的施策	(3) 水木しげるロードリニューアルの早期完成、街並み整備
-------	-------------------------------

施策の展開方針		
①すべての人にやさしく、誰もが楽しめる道づくり	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月14日に水木しげるロードリニューアルオープン。</li> </ul> [水木しげるロードリニューアル整備概要] 整備延長……800m(県道含む) 一方通行……市道部全域 車道幅員……5m(2車線から1車線) 歩道幅員……4m~6m(歩道を広げゆっくりにくつろげる空間を新たに創出) ブロンズ像……177体となった妖怪ブロンズ像をテーマ別に再配置 演出照明……妖怪の影絵を路面に映したり、ブロンズ像などのライトアップの色が変化する照明を整備		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげる記念館前のロードと記念館前庭に照明施設を整備。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②活気あふれ、また来たくなる質の高い「おもてなし」	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市街なみ環境整備事業補助金の受付を開始し、5件の店舗で整備が完了した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市街なみ環境整備事業補助金の活用に向けたPRを実施し、駅前公園整備を行い一体となった街並みを形成する。</li> <li>・街並み環境整備の一環として、駅前公園内に水飲み場、ベンチ、外灯などの便益施設を整備する。</li> </ul>		

具体的施策	(4) 水産と観光の連携
-------	--------------

施策の展開方針		
①「食」による観光の魅力づくり	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都調布市で開催された「ゲゲゲ忌」や京都市で開催された「怪フォーラム」、本市で開催された「水木しげる生誕祭」等の水木関連イベントにおいて、ベニズワイガニや地元食材を活用した「食」の魅力をPRした。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き観光イベントにおいて、本市の特産品である『さかな』を中心とした「食」のPRを実施する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②「魅せる漁業」の充実化	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物の水揚げやセリ等が見学できる「境漁港見学ツアー」や沿岸漁業者が水産物を直接販売する「中野港漁村市」等の開催を支援し、取り組みを充実させた。</li> <li>・「境漁港見学ツアー」では外国人参加者増加に対応できるように人員を充実。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「境漁港見学ツアー」「中野港漁村市」等、多くの「魅せる漁業」の開催を支援するとともに、更なる内容の充実に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③体験型メニューの造成	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロードの「妖怪スタンプラリー」や高度衛生管理型市場の「漁港見学ツアー」を県外での観光プロモーションや観光商談会の場でPRを行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「妖怪スタンプラリー」や「漁港見学ツアー」等の体験型メニューをPRするとともに令和2年3月に開通予定の弓ヶ浜サイクリングロードを活用した体験型イベント等を検討する。</li> </ul>		

具体的施策	(5) 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進
-------	--------------------------

施策の展開方針		
①観光ブランドイメージの形成と定着	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内では「水産まつり」をはじめとする水産関係のイベントや「水木しげるロード・リニューアルイベント」、「水木しげる生誕祭」などの水木関係のイベントで観光PRを行い、県外では観光プロモーションや観光商談会において観光PRを行い、『さかなと鬼太郎のまち境港』の観光イメージ確立を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、県内外でのイベント等において『さかなと鬼太郎のまち境港』の観光イメージ確立のため観光PRを行う。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②夜の魅力度向上	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロード・リニューアルにより整備された「夜間演出照明」を活用し、約30年ぶりに復活した『土曜夜市』や『妖怪ハロウィン』など夜間イベントの開催により新たな賑わいを創出した。</li> <li>・夏季期間は、水木しげる記念館の開館時間を延長するとともに「妖怪文化伝承事業」として記念館前庭で記念館館長による「妖怪のお話」を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「夜間演出照明」を活用した夜間イベントを開催して夜の魅力を向上させ、通過型観光から滞在型観光へと移行を図る。</li> <li>・夏季期間の水木しげる記念館の開館時間延長及び「妖怪文化伝承事業」を継続して実施する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③体験型レジャーの造成	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロードの「妖怪スタンプラリー」や高度衛生管理型市場の「漁港見学ツアー」を県外での観光プロモーションや観光商談会の場でPRを行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「妖怪スタンプラリー」や「漁港見学ツアー」等の体験型メニューをPRするとともに令和2年3月に開通予定の弓ヶ浜サイクリングロードを活用した体験型イベント等を検討する。</li> </ul>		

具体的施策	(6) 企業誘致と創業支援による雇用の創出
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①企業誘致の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の各種支援制度を活用し、市内企業の規模拡大や、市外からの企業誘致推進を図った。</li> <li>・H30年度進出企業 2社</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市外からの企業誘致活動を実施し、地域活性化、雇用促進に繋げる。</li> <li>・R元年度進出企業 3社</li> </ul>		

施策の展開方針		
②創業支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の設置、補助制度整備、西部地域の自治体・商工団体との連携により創業支援に積極的に取り組むことで新たな雇用の場が創出されている。</li> <li>・H30年度補助金実績 6社</li> <li>・鳥取県西部圏域の小中高生を対象に、創業とその魅力の理解を深め、創業に係る基本的な知識を習得することを目的としたセミナーを開催した。</li> <li>・H30年度実績 ジュニア世代創業チャレンジセミナー（8月18日） 参加者：21人（うち市内1人）</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、相談窓口、西部地域の関係機関と連携し、創業支援に取り組む者への支援を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③人材確保の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取労働局、米子公共職業安定所との「雇用対策協定」により新たに設置した雇用対策協定運営協議会により、人材確保のためのコンサルティング、事業者見学や就職面接会などを一体的に実施した。</li> <li>・商工団体への要望活動や、中海圏域4市（境港、米子、松江、安来）によるWEBサイトの運営、イベントへの参画を通じUIJターンの促進を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用対策協定運営協議会で策定した運営計画に沿い、関係機関連携した取り組みを図る。</li> <li>・中海圏域4市（境港、米子、松江、安来）によるWEBサイトの運営、イベントへの参画を通じ、市内企業の魅力を発信し、UIJターンの促進を図る。</li> </ul>		

具体的施策	(7) 伝統的地域資源「伯州綿」のブランド化
-------	------------------------

施策の展開方針
---------

①栽培の効率化	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯州綿畑に防草シートやマルチシートを設置して栽培時の除草作業の軽減に取り組み、収穫量の安定化を図った。</li> <li>・サポーターの確保・増員に向け、交流会等を通じてやりがいや満足度向上を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水の改善のほか、防草シートやマルチシートの有無、肥料の量を変えるなど、試験区画を設け、作業負担の軽減や、綿の品質向上に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針
---------

②ブランド化に向けた体制づくり	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊が中心となって関係団体等と連携し、PRイベントを開催し、幅広い層へ向けて伯州綿をPRし、知名度の向上を図った。</li> <li>・民間事業者における伯州綿の利活用を支援し、新たな製品の開発、販売につなげた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者の伯州綿を利活用する取り組みを支援し、更なる定着を図る。</li> <li>・WEBサイト等を活用し、情報発信を行うとともに、伯州綿に関心を持った方が必要な情報にアクセスしやすい環境を作っていく。</li> </ul>		

施策の展開方針
---------

③伯州綿のブランド化	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊が中心となって関係団体等と連携し、PRイベントを開催し、幅広い層へ向けて伯州綿をPRし、知名度の向上を図った。</li> <li>・民間事業者における伯州綿の利活用を支援し、新たな製品の開発、販売につなげた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者の伯州綿を利活用する取り組みを支援し、更なる定着を図る。</li> <li>・WEBサイト等を活用し、情報発信を行うとともに、伯州綿に関心を持った方が必要な情報にアクセスしやすい環境を作っていく。</li> </ul>		

基本目標	3 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実
------	-----------------------

具体的施策	(1) 少人数学級の実施や指導補助員の配置など教育環境の充実
-------	--------------------------------

施策の展開方針		
①学習支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1・2年生の30人学級、3～6年年生の35人学級、中学校1年生の33人学級、2・3年生の35人学級の少人数学級を実施すると共に、各小・中学校2名の学習指導補助員を継続配置し、きめ細やかな学習支援が行える教育環境の充実を図った。</li> <li>・小学校の外国語科及び外国語活動の先行実施に伴い、英語指導助手（ALT）の配置を2人から3人に増員した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、少人数学級の実施と各小・中学校2名の学習指導補助員の配置を継続する。</li> <li>・先行実施を行っている小学校外国語科及び外国語活動、また中学校の外国語科における「話す・聞く」の資質・能力を向上させるため、英語指導助手（ALT）を3人から4人に増員する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②特別支援教育の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援コーディネーターを1人配置し、保育園・幼稚園及び小・中学校と連携し、就学支援及び個別支援（保護者相談）等について、専門的な支援を行った。</li> <li>・通級指導教室担当教員及び学習障がい（LD）等専門員と連携し、発達障がいをはじめとする通常学級において支援を要する児童・生徒に対する専門的な支援を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援コーディネーターの配置を継続し、引き続き関係機関との連携・支援の充実を図る。</li> <li>・保育園、幼稚園及び小・中学校等の相互の派遣研修を継続する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③小中一貫型教育の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校の連携を通して、学習指導や生徒指導、特別支援教育等について情報を共有し、相互理解をもとに9年間を意識した連携の推進を図った。</li> <li>・コミュニティ・スクールの導入準備を進めていた第一中学校区において、9年間で育てたい子どものビジョンについて、熟議による検討・協議を重ねた。また、第三中学校区においてもコミュニティ・スクール導入の準備を開始した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月から第一中学校の学校運営協議会がスタートした</li> <li>・第三中学校区及び第二中学校区について、中学校区単位でのコミュニティ・スクールの導入準備を進め、地域で育てたい子どものビジョンづくり、9年間で育てたい力等についての熟議、研修を重ね、小中一貫型の教育を推進する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④持続可能でより良い学校の在り方の検討	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区審議会の最終答申に基づき、誠道小学校を余子小学校に統合する方針について、地域住民に説明を行うとともに、平成30年9月に地域、学校、保護者等の代表者による「余子小学校及び誠道小学校統合準備委員会」を設置した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・余子小学校及び誠道小学校統合準備委員会内に設置した三部会（PTA部会、教育課程等部会、PTA部会）で統合準備に向けた詳細な協議を進めるとともに、委員会において具体的な準備、作業内容等についての総合的な判断及び決定を行う。</li> <li>・校区審議会の最終答申で出された「将来的な小中学校の編成の在り方」について、開設時期及び校区等を含め、地域住民の意見等を十分に聴取、把握し、総合的な検討を進めていく。</li> </ul>		

具体的施策	(2) 道徳教育・国際理解教育・英語教育の充実
-------	-------------------------

施策の展開方針		
①道徳教育の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各領域及び体験活動等と道徳教育を関連づけながら、学校教育活動全体で道徳教育が充実できるように指導し、各学校で研修を行った。</li> <li>・「特別の教科 道徳」の評価についての研修を積み、適切な評価を行うことができた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題の撲滅に向けて、道徳教育の充実に向けて、引き続き研修を実施する。</li> <li>・若手教員に対する道徳の指導と評価についての研修を企画する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②国際理解教育の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣研修先を国内から、英語を公用語の一つとするシンガポール共和国に中学校2年生9名を派遣し、現地での学習及び生活体験、現地大学生との英会話での街歩きなど、国際理解教育推進のためのプログラムを実施した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、中学校2年生9人をシンガポール共和国に派遣し、現地学習・視察だけでなく、ホームステイ体験等による現地の人々と直接交流する機会を増やし、国際理解教育の推進を図る。</li> <li>・外国の多種多様な文化に触れることで国際理解を深め、英語を使ったコミュニケーション能力の向上を図り、より実践的な英語力を養う。今後、派遣生徒数の増員及び他の英語圏への派遣を視野に入れた取り組みを進める。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③英語学習の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜英語学習「境港うきうきイングリッシュ」を継続して実施した。島根大学の学生ボランティアをはじめ、ALTボランティア、地域の人材を積極的に活用した。</li> <li>・GTECを全中学2、3年生を対象にスピーキングテストを実施。4技能をバランスよく学ぶため、中学校英語教員の研修を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜英語学習「境港うきうきイングリッシュ」を継続し、児童が地域人材と直接かかわりながら、英語に慣れ親しむ機会を提供する。</li> <li>・全国学力学習状況調査で3年に1度、英語が実施されることに伴い、GTEC受検を見直し、他の学力標準テストに変更する。</li> </ul>		

具体的施策	(3) 地産地消・食育の推進
-------	----------------

### 施策の展開方針

①健全な食生活の実践のための食育の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が自ら調理を行うフッシュキッチン、給食に使用する食材の下処理のお手伝いや菜園活動など、子どもたちの五感を通じた体験を増やししながら、食事についての望ましい習慣を学び、食を楽しむ機会の増加に努めました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィッシュキッチンをはじめとした事業を継続実施するとともに、活動が園の負担にならないような体制づくりを実施、子どもたちの体験を大切にしながら、食育の推進を図っていきます。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

②郷土愛醸成に向けた協働による食育の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育園幼稚園でマグロやカニなど境港を代表する食材を利用した食育集会やフィッシュキッチン、漁師交流など、生産者(港ベジターズ等)、地域ボランティア(境港ベニガニ有志の会、食生活改善推進員、地元漁業者など)とともに協働で実施しました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き農業、漁業、加工流通業、食育活動に取り組む地域の方々等と連携をとりながら、食育活動に取り組んでいきます。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

③安心・安全でおいしい学校給食の提供	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の質の向上を図るための各種取組を実施した。(新メニュー26品を提供、衛生管理講習会の開催など)</li> <li>・給食センター配置の栄養士が学校を訪問し、食育指導を延べ304回実施した。</li> <li>・地場産品活用の取組として、美保湾のセイゴ、ジビエ(鹿肉)を提供した。</li> <li>・平成31年4月から学校給食調理等業務を民間事業者に委託するための公募型プロポーザルを実施した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月から学校給食調理等業務を国内最大手の民間事業者に委託し、より安心・安全な給食の提供に努める。</li> <li>・学校給食の質の向上のため、委託事業者と連携し、新メニューの提供、衛生管理の向上等に積極的に取り組む。</li> <li>・学校栄養教諭及び学校栄養職員を中心に、現場調理員も加えた学校訪問による食育推進活動の充実を図る。</li> <li>・県産食材の使用に引き続き努めるとともに、新たな地場産品の活用に取り組む。</li> <li>・学校給食米の田植え・稲刈り体験や料理教室等、食についての学習の場を提供する</li> </ul>		

### 施策の展開方針

④食生活改善推進員の人材育成、活動支援	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員会の地区活動(年間283回、参加延べ人員5,544人)に対する支援のための助成事業を継続。(＠20,000円×7地区)</li> <li>・食生活改善推進員(7地区) 平成30年度:214人(うち男性1人)</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員会の地区活動に対する支援のための助成事業を継続。</li> <li>・食生活改善推進員の活動がスムーズに実施できるよう、事前学習会や研修会を実施。</li> </ul>		

具体的施策	(4) 生涯学習の推進や地域文化・歴史の継承
-------	------------------------

施策の展開方針		
①公民館活動の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民のニーズの把握に努め、ニーズに対応した学習機会を提供した。</li> <li>・公民館職員が積極的に県や市が開催する研修会等に参加し、社会教育に関する知識力の向上に努めた。それを活かし、公民館が地域コミュニティの核となるように、公民館の機能を高めるように努めた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ニーズの把握に努め、ニーズに対応した公民館活動のさらなる充実を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②生涯読書活動の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタートや読み聞かせ活動など、胎児から高齢者まで生涯を通じた読書活動の推進に取り組んだ。また、読書活動推進大会を開催し、読書の楽しさ・大切さを伝えた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、小・中学校の読み聞かせや読書活動推進大会の開催など様々な読書活動の推進に努め、公民館・済生会病院・こうほうえんへの移動図書館を実施し、本と触れ合う機会の充実を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③体育活動の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼太郎カップ境港駅伝競走大会や市民体力テストの開催、体育協会や各地区が実施する体育行事への助成を行うことにより、市民の体育活動の促進に努めた。</li> <li>・体育施設を適正に管理し、市民が日常的に体育活動を行える環境づくりに取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、体育行事の開催、各種団体が実施する体育行事への支援を行うとともに、施設を適正に管理することにより、日常的に体育活動を行える環境づくりに取り組んでいく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④文化活動の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市美術展覧会やピアノコンクールを開催したほか、文化協会等各種団体が行う自主事業への助成、文化ホール等の文化施設の管理運営など、市民が文化に親しめる環境づくりに取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種文化活動を開催するほか、各種団体による文化活動を支援することにより、文化に親しめる機会を市民に提供していく。</li> <li>・境港市民交流センター（仮称）の整備だけでなく、既存の文化施設を適正に管理することにより、市民が日常的に文化活動を行うことができる拠点の整備に努める。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤文化財の保存・活用・周知	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会を開催し、文化財の保存・活用方法を検討した。また、市内に残る伝統行事の保存・継承を図るため、「竹内町のオコニヤ」の調査、トンド行事・弓浜鉾の保存・継承へ向けての活動に協力した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会にて文化財の保存・活用方法を検討するほか、文化財所有者が行う文化財保存の取組みを支援していく。伝統行事の保存・継承へ向けては引き続き実施団体の活動を支援していく。また、市民が地元の歴史に関心を持ち、文化財に親しんでもらえるよう、文化財の周知に努めていく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑥一人ひとりの人権を尊重した住みよいまちづくりの推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内7地区のうち、3地区（渡・誠道・中浜地区）において、人権学習地区巡回講座を実施し、発達障がいテーマにしたDVDの視聴を通して、違いを認め合い、活かし合う社会について考え、人権意識の向上に努めた。</li> <li>・「絆がはぐくむ人権のまちづくり」をテーマにした「境港市人権ふれあいフェスティバル」の開催、強調月間等において機を捉えた講座、講演会を開催し、人権尊重社会の実現に向けた啓発を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や地域の様々な人権問題を正しく理解し、一人ひとりを大切に、人権を尊重した住みよいまちづくりを推進していくため、鳥取県や境港市人権教育推進協議会、各種関係団体と連携しながら、人権意識の向上に努める。</li> </ul>		

具体的施策	(5) 結婚から子育てまでの総合的支援の推進
-------	------------------------

施策の展開方針		
①出会いの場の創出	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海・宍道湖・大山圏域で一体となり結婚支援事業を実施した。（米子市、松江市の2会場で参加者141名）</li> <li>・とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」と連携して、境港商工会議所で「出張相談会」を開催した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、中海・宍道湖・大山圏域で一体となり結婚支援事業を実施していく。</li> <li>・とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」と連携して、会員登録者数の増加に向けたPRを行うとともに、出張登録会や相談会等の開催に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②地域における子育て支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発行する子育て情報誌を、保育関係施設に加え、各地区公民館にも配布し、掲示してもらっているほか、市報に子育てに関するコーナーを常設するなど情報提供に取り組みました。</li> <li>・1歳未満の子を在宅で育児している世帯の負担軽減として、新たにファミリー・サポート・センター在宅育児世帯助成事業を開始いたしました。</li> <li>・ファミリー・サポート・センターの対象児童を中学3年生まで拡充させ、子育て支援の充実を図りました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報発信の充実や子育て支援サービスの利用を促し、子育てに関する不安の解消に取り組んでいきます。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③子育て家庭に対する支援	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育サービスの充実に努め、4月1日時点での保育所待機児童数0人を維持しました。</li> <li>・第3子の無償化や低所得世帯の保育料減額など、保護者の経済的負担の軽減に努めました。</li> <li>・近年増加傾向にある食物アレルギーを持つ園児に適切に対応するため、公立私立を問わず市内の全園の保育士を対象とした研修会を実施し、保育士の資質向上に努めました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き保育サービスの充実に努め、4月1日時点での保育所待機児童数0人を維持できるよう取り組んでいきます。</li> <li>・引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むとともに、無償化の実施に伴う副食費の実費徴収についても、免除対象を世帯第3子までに拡大し、保護者の負担軽減に取り組めます。</li> <li>・保育士を対象とした研修活動を充実し、資質向上に取り組めます。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④豊かな心を育む教育の推進と子どもの健全育成	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートスタート事業、命の学習授業など、子どもの感性を刺激し、コミュニケーション力の向上、命の大切さを学ぶなどの学習機会を提供することで、子どもの健全育成に取り組めました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートスタート事業、命の学習授業など、引き続き子どもの感性を育むような事業や命の大切さを伝える事業を提供し、健全育成に欠かせない自己肯定感の醸成を推進していきます。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤子育てと仕事の両立支援	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日時点での保育所待機児童0人を維持するとともに、休日保育、延長保育、一時預り、病児病後児保育、ファミリー・サポート・センターの運営等、保護者の就労と子育ての両立を支援するための事業を実施しました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立園との連携強化、情報共有に努め、引き続き保育所待機児童数0人の維持に努めます。</li> <li>・休日保育等の特別保育やファミリー・サポート・センターの運営を継続し、保護者の就労と子育ての両立が図られるよう取り組んでいきます。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑥女性活躍、ワークライフバランスの推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性活躍推進計画」と一体化した「第3次男女共同参画推進計画『女（ひと）と男（ひと）とのいきいきプラン』」を策定した。</li> <li>・計画の概要版パンフレットを作成し、講演会や研修会等での配布、出前講座を開催し、概要や特徴の説明など、周知・啓発に取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次境港市男女共同参画推進計画の子ども向け概要版パンフレットを作成するとともに、女性活躍・ワークライフバランスの推進に向け、制度や講座等の周知・啓発に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑦要保護児童等への対応ときめ細かな取組みの推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童等については、要保護児童対策地域協議会の枠組みにより、保育園、小中学校、医療福祉などの関係機関が連携して対応しました。</li> <li>・子育てに不安を抱えている家庭に対して、子育て経験者等が家庭訪問を行い、抱えている悩みを聞いたり、一緒に育児や家事をしながら、子育ての負担軽減や育児への自信をつけていただく事業として「子育て世代訪問支援事業」を新たに開始しました。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童等への対応については、要保護児童対策地域協議会を中心とした児童虐待の防止に引き続き取り組んでいくほか、子育て世代訪問支援事業を継続していくなど、支援を必要とする方との顔の見える関係づくりを進めていきます。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑧母子保健事業の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市子育て包括支援センター（保健相談センター内）において専門の母子保健コーディネーターを配置し、全ての妊婦の個別相談、妊産婦等の状況を継続的に把握している。新生児家庭訪問、両親学級等の母子保健事業、子育て支援サービスによる妊娠期から子育て期（就学前）にわたる切れ目のない総合的なサポートを実施。</li> <li>・特定不妊治療、人工授精に要する経費の一部助成を国、県制度の対象者に継続実施するとともに、不妊相談を開催。また、29年度より不妊検査、一般不妊治療（保険適用治療）に要する経費の一部助成を開始。</li> <li>・新生児聴覚検査費用の助成（1人2000円限度）を実施。</li> <li>・歯科検診、フッ素塗布を1歳9か月児から2歳9か月児の希望者へ実施。</li> <li>・訪問型ヘルパー派遣、通所型デイケア、宿泊型ショートステイによる産後ケア事業を育児への不安が強く、家族から十分な支援が得られない対象者に実施。</li> <li>・安心メール相談を実施。妊娠期（初期・中期・後期）から就学前（乳児期3回・幼児期3回）まで各時期に応じた子育て情報を配信し、メールによる相談にも対応。</li> <li>・母子の健康を維持し発達の支援を行うために、妊婦健診の受診勧奨と産後健診・1か月児健診を無料で実施。</li> <li>・6か月児、1歳6か月児、3歳児の健診を実施し、精密検査受診勧奨や関係機関との連携により、疾病等の早期発見とフォローに努めた。</li> <li>・予防接種法に基づく定期予防接種について、医療機関と連携して適切に実施。</li> <li>・親子関係の確立、子育ての不安の解消のため子育て講座「子育ての旅」（全6回）を開催し、地域の子育てネットワークの強化を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度取り組みの継続実施。</li> <li>・医療機関と連携し、妊娠初期から相談支援を行い、エジンバラ産後うつ質問票を活用し産後うつ予防を目的とした産後健診（2週間目・4週間目）の実施。</li> </ul>		

具体的施策	(6) 高齢者の地域ケア体制の充実
-------	-------------------

施策の展開方針
---------

①地域包括ケア体制の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の3つの生活課題（「認知症の早期発見と対応」、「外出が難しい方の支援」、「フレイル予防事業」）について、地域ケア会議で対応可能な具体策を検討し、認知症ケアパスの作成やバス乗り方勉強会などに取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体策の取り組みを地域ケア会議で報告と取り組みの継続を確認し、令和2年度は個別ケースについて検討する。</li> <li>・多職種連携研修会を令和元年度も実施し、多様な視点で意見交換を行った。職種を越えた顔の見える関係づくりのために今後も継続して開催する。</li> </ul>		

施策の展開方針
---------

②地域での見守り体制の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターが各地区を回り、「支え愛マップ」の作成等を通じて地域づくりの重要性の啓発と支援に取り組み、新たに1地区で見守り体制づくりに繋がった。生活支援サービス事業は登録団体4団体中2団体で実際の支援が行われた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度も「支え愛マップ」づくりによる見守り体制に取り組む地区が1地区増加。既存の地区も含め、取り組みに継続性を持たせるとともに、引き続き見守り体制の構築の拡大をめざす。生活支援サービスについても継続して制度のPRを行う。</li> </ul>		

具体的施策	(7) 市民の健康づくりの推進
-------	-----------------

施策の展開方針
---------

①健康づくりの推進（がん検診等の受診促進）	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の受診率向上のために、境港医師協会と連携し「ミニ講演会&amp;情報交換会」の実施や各種団体が集まる機会をとらえ健康教育や健診受診勧奨を実施した。(111回、参加延べ人数3,104人)</li> <li>・健診(検診)未受診者への訪問や電話、DMを実施。</li> <li>・健康増進計画、食育推進計画、自死対策計画を一体とした「境港市健康づくり推進計画」を策定。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の取り組みを継続実施するとともに、健康づくり地区推進員や検診すすめ隊等を対象とした学習会の開催を行い、市民による健診受診や健康づくりに関する声かけ運動の充実・拡大を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針
---------

②生活習慣病の重症化予防	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診、レセプトデータの解析を行い、糖尿病の重症化リスクの高い対象者に対して、保健師、栄養士による生活支援を継続して実施。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病重症化予防のための生活支援の実施についての効果検証を実施。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③介護予防の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防に向けたフレイルサポーターの養成とフレイルチェックを実施。また「いきいき百歳体操」の講習や住民主体の活動支援、介護予防筋力向上トレーニングによる運動機能の維持・改善を図るとともに、口腔機能向上や栄養改善指導など健康教育も適宜実施。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルサポーター養成講座によるサポーターの拡大と各地区でフレイルチェックを継続して実施。「いきいき百歳体操」のさらなる普及と自主活動の継続支援や介護予防筋力向上トレーニング、健康教育、認知症予防など、介護予防に継続して取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④高齢者の社会参加と生きがいづくり	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことぶきクラブや自主サークル・グループ等の活動支援、「高齢者ふれあいの家」事業を通じた居場所づくり、シルバー人材センターやハローワークなど高齢者の就労促進の取り組みの支援など、高齢者の社会参加の機会、場の確保に取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の取り組みの継続に加え、社会参加と介護予防を兼ねて、令和元年度から介護支援ボランティアポイント制度を導入。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤精神疾患の予防・自死対策	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの「カウンセリング」を毎月実施、セルフメンタルチェックが可能な「こころの体温計」サイトの継続。</li> <li>・思春期からの自死予防対策として、福祉、教育、保健分野による「いのちとこころのプロジェクト事業」の継続。</li> <li>・こころの健康づくりに関する啓発として「こころの出前講座」の実施や精神障がい者家族会「まつば会」とともに「こころの学習会」を開催。</li> <li>・自死対策計画を「境港市健康づくり推進計画」と一体的に策定。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の取り組みを継続実施。</li> <li>・自死のサインに気づき、見守りや必要に応じて専門機関につなぐ等、適切な役割を担う人材（ゲートキーパー）の養成。</li> </ul>		

具体的施策	(8) 障がい者の自立・社会参加の支援
-------	---------------------

### 施策の展開方針

①生活支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方への相談支援を西部地区の4か所の支援センターに委託した。また「境港市障がい福祉サービス事業所連絡会」において「住宅の確保」と「相談支援」のワーキンググループを設置し、「相談支援」のワーキンググループにおいて相談支援体制や、相談支援のリーフレット作成について協議した。</li> <li>・西部障害者自立支援協議会において相談支援や困難事例への対応のあり方についての協議や、事業所間のサービス調整等を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方やその家族等が、より身近な場所で相談支援が受けられるよう、令和元年度は市単独で市内の支援センターに相談支援を委託している。</li> <li>・障がい福祉サービスの利用方法や相談窓口、市内の障がい福祉サービス事業所を掲載したリーフレットを作成し、周知を図っていく。</li> <li>・成年後見制度の活用について、引き続き関係機関と連携を図りながら支援していく。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

②就労支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援センターや障害者就業・生活支援センター、障がい福祉サービス事業所等と連携し、障がいのある方の福祉的就労サービス（就労継続支援）の利用支援や一般就労への移行に取り組んだ。</li> <li>・障がい者就労施設等からの物品等の調達は、目標額（前年度実績を上回る額）を達成した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者就労に関する周知啓発（市報、HP掲載）を引き続き行う。</li> <li>・関係機関と連携し、事業者の障がい者雇用に対する理解を深めるとともに、就労移行支援、就労継続支援の充実を図る取り組みを行っていく。</li> <li>・障がい者就労施設等からの物品等の調達は、引き続き目標額を達成するよう推進を図っていく。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

③生活環境の整備と障がいへの理解促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいサポート運動を市内2団体に委託して実施した。</li> <li>・「ほっとはあと&amp;福祉ふれあいまつり」を開催した。</li> <li>・避難行動要支援者名簿の対象者を身体障害者手帳1級、2級の方（障害種別の限定なし）、療育手帳Aの方、精神障害者保健福祉手帳1級の方、難病患者の方に拡充した。</li> <li>・聴覚障がい児（者）訪問調査を行い、生活の実態を把握するとともに、制度やサービス等の周知を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「鳥取県民みんなで進める障がい者が暮らしやすい社会づくり条例」（あいサポート条例）に基づき、ヘルプマークの普及をはじめ、障がいへの理解とあいサポート運動の推進の取り組みを引き続き行っていく。</li> <li>・障がいのある方に対して災害時に適切な支援ができるよう、避難行動要支援者名簿の作成等、引き続き体制整備に努める。</li> <li>・聴覚障がい児（者）訪問調査の結果をもとに、きめ細かい支援につなげていく。</li> <li>・市内へのグループホームの設置促進を図るため、ニーズ調査を行い、事業者へ情報提供や働きかけを行っていく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④精神障がい者の自立支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がい者手帳、自立支援医療(精神通院)やこころの病気に関する各種制度等を紹介したチラシを市内及び米子市内の医療機関へ配布。</li> <li>・精神障がい者当事者が集う場として「当事者の会」を10回開催。</li> <li>・精神障がい者家族会「まつば会」や精神障がい者ボランティア団体「あい愛」の活動支援。</li> <li>・保健師が精神障がい者や家族の相談を受けながら、必要な機関へつなぐ等の支援。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の取り組みの継続実施。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤発達障がい者支援の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健診、事後健診及び3歳児健診で療育指導または療育専門機関受診が必要とされる幼児の早期発見に努めた。</li> <li>・健診結果等で、発達面で経過観察が必要な幼児や育児不安を持つ保護者に対し、療育を取り入れた遊びを通して、助言・指導を行う「すくすく教室」を12回開催。</li> <li>・年中・年長児の保護者が発達相談を希望する幼児を対象に「5歳児発達相談」を4回開催し、必要に応じて発達検査を実施する等、適切な支援を行った。</li> </ul> <p>市内にある「NPO法人陽なた」を中心に、発達障がい児に関する相談支援や障がい児通所サービスを利用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに携る専門職や関係者及び保護者等に呼びかけ、子どもとの関わり方や接し方を学んだり、地域で子どもを支える方策について考えるきっかけづくりとする「成長発達を考える会」を開催。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健診、事後健診及び3歳児健診で療育指導または療育専門機関受診が必要とされる幼児の早期発見の取り組みの継続。</li> <li>・「5歳児発達相談」の継続実施。</li> <li>・関係機関と連携し、引き続き発達障がい児者個々に必要な支援が提供できるよう、体制整備を図っていく。</li> <li>・乳幼児の発達支援をテーマに、医師、療育指導員等を講師に保育士・保健師等のスキルアップ学習会を開催。</li> </ul>		

基本目標	4 安心して住みよい生活基盤の充実
------	-------------------

具体的施策	(1) 公共下水道の整備促進
-------	----------------

施策の展開方針

①未普及地区の整備促進	評価	A
-------------	----	---

平成30年度取組実績

・汚水管渠整備については、渡町・外江町における渡4号汚水幹線築造工事等の汚水幹線の整備、渡町・外江町・森岡町における汚水管渠の面整備等を行った。  
 ・汚水整備区域の雨水排水路について、排水不良や老朽化の進んだ側溝等を改修した。  
 ・現在の公共下水道事業計画区域外の外江地区、弥生町の一部等を区域に編入するため、事業計画変更業務委託を行った。  
 主に外江地区、弥生町の一部を公共下水道計画区域に編入し、概ね7年程度で整備する公共下水道計画区域を拡大するため、事業計画の変更作業を進めた。

<公共下水道の整備状況>

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備面積(ha)	758.6	777.6	813.9	839.2	868.5	893.6	939.9	977.0
汚水管渠(km)	150.7	155.6	163.4	170.1	176.4	180.3	187.8	196.5
処理区域人口(人)	18,735	19,885	21,277	23,324	23,977	24,085	25,420	26,054
人口普及率(%)	52.3	55.0	59.7	66.0	68.6	69.7	74.3	76.8
水洗化人口(人)	16,082	16,635	17,524	18,172	18,904	19,330	20,354	20,761

<生活排水処理施設(合併処理浄化槽を除く)人口普及率の比較(平成30年度末)>

区分	境港市	全国平均	県内平均	米子市	倉吉市	鳥取市
人口普及率(%)	76.8	82.1	88.7	79.9	94.1	95.1

令和元年度以降の取組(予定)

・汚水管渠整備について、現在の公共下水道事業計画区域外の外江地区、弥生町の一部等を区域に編入する事業計画変更を令和元年度に行い、渡地区、外江地区の汚水幹線整備及び面整備、マンホールポンプの新設等を推進する。  
 ・汚水管渠の整備について、事業計画区域内の渡地区、森岡地区で汚水の面整備を継続して進めていき、事業計画区域を拡大する外江地区は、面整備の汚水を受け入れる汚水幹線の整備を優先して進めていく。  
 ・雨水整備について、汚水管渠整備に合わせて側溝等の改修を行うほか、西工業団地等において、浸水対策を目的とした設計・工事を行う。

施策の展開方針

②下水道施設の適正な維持管理	評価	A
----------------	----	---

平成30年度取組実績

・終末処理場について、平成29年度から令和元年度の3箇年で改築更新工事委託(汚泥処理施設、沈砂池施設)を実施中である。  
 ・終末処理場等の既設機器の整備と交換や、マンホール・公共柵の補修等、維持管理を行った。

令和元年度以降の取組(予定)

・終末処理場について、改築更新工事委託を令和元年度にかけて実施する。  
 ・管渠施設を含めた下水道施設について、適正な維持管理を行う。加えてストックマネジメント計画を策定して、改築更新の必要性を検証する。  
 ・下水道施設全体を適正に維持管理するため、ストックマネジメント計画を策定し、調査点検結果を踏まえて、改築の必要性、優先度等を把握し改築計画・工事を進める。  
 ・県緊急避難道の県道のマンホールについて、大規模地震を想定した検証を行い、対策を講じる。  
 ・県が指定した緊急避難道路に埋設されているマンホールについて、大規模地震による液状化によりマンホールが浮上しないよう対策を行い、災害時に車両の通行を確保する。

施策の展開方針		
③経営の健全化	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終末処理場運転経費の増加抑制に作用する改築更新工事を実施した。</li> <li>・ 未普及区域の汚水管渠整備と水洗便所等改造資金融資制度の改正等による新規接続の増加し、収益が向上した。</li> <li>・ し尿・浄化槽汚泥受入処理費等、一般会計からの繰入を適正に行うとともに、事業初期の高額な借入の償還完了等により収支が改善した。</li> <li>・ 整備計画や経営状況について、市報・ホームページ等を通じて公表した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終末処理場の運転経費等の維持管理費の抑制に努める。</li> <li>・ 未普及区域の整備促進、未接続世帯に対する接続勧奨、水洗便所等改造資金融資制度の広報等によって新規接続を増やし、収益の向上に努める。</li> <li>・ 整備計画及び経営状況について、市報・ホームページ等を通じて公表する。</li> <li>・ 地方公営企業法に基づいた会計方式へ移行するため、固定資産台帳作成・公営企業会計システム構築等の外部委託、その他の移行作業を進める。</li> </ul>		

具体的施策	(2) 夕日ヶ丘の市街化促進
-------	----------------

施策の展開方針		
①分譲促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスティングや雑誌・新聞等により、夕日ヶ丘分譲地及び定期借地権制度の周知・PRに取り組んだ。</li> <li>・ 平成30年度定期借地権制度利用実績9件、販売実績1件</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、ポスティングや広告媒体等を活用し、分譲地及び定期借地権制度の幅広い周知・PRに取り組む</li> </ul>		

施策の展開方針		
②商業・利便施設の誘致推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商業・利便施設の誘致実現に向けて、事業者等に対して夕日ヶ商業用地のPRに取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、地区の利便性や魅力度の向上に資する商業・利便施設の誘致活動に取り組む。</li> <li>・ 令和元年度において、1件の利便施設誘致が決定した。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③地区の賑わい創出	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ボート・ペロン大会」等の各種イベント（水辺で乾杯は台風のため中止）や野球・サッカー・陸上・駅伝等の各種スポーツ大会が開催された。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、親水護岸を中心とした水辺空間と一体となった賑わいの創出に取り込む。</li> <li>・ 各種スポーツ大会への駐車場提供等の協力を行っていく。</li> </ul>		

具体的施策	(3) 快適な都市環境づくり (公園整備・空家対策・防犯対策)
-------	---------------------------------

### 施策の展開方針

①公園の適正管理	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会などによる公園の除草活動に活用可能な、貸出用の乗用型草刈機を整備した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>夕日ヶ丘メモリアルパークに、猛暑対策および賑わいづくりを目的としたミスト噴霧器を設置した。</li> <li>夕日ヶ丘地区において整備が行われた親水公園と、隣接する夕日ヶ丘メモリアルパークが一体的に活用できるよう、ジョギングコースの整備を図る。</li> <li>市民交流センターの整備に合わせ、境中央公園の改修を行う。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

②建物の適正管理の周知、働きかけ	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産税の納税通知書送付時に、空家となった建物の適正管理を促す文書を同封したほか、市報を活用して空家の適正管理の周知を行った。</li> <li>空家の適正な管理を促すため、シルバー人材センターと「空家の適正な管理の推進に関する協定」を基に、市報や窓口等においてシルバー人材センターが行う空家管理制度の周知を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空家対策の指針となる「空家対策計画」を策定し、効果的な建物の適正管理の周知、働きかけを行う。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

③特定空家の解消	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空家の所有者等への働きかけにより、平成30年度は4件の特定空家が解消された。(1件が補助制度を利用)</li> <li>自治会の協力により空家の実態調査を行い、783件を空家と判定した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空家対策の総合的な指針となる「空家対策計画」を策定し、計画に基づく取り組みを進めることで、特定空家を含めた空家対策を推進する。</li> </ul>		

### 施策の展開方針

④「空き家情報バンク」制度の活用促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページでの案内や市報での案内により、2件の物件登録があった。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、鳥取県宅地建物取引業協会等と協力しながら、広報やマッチングに力を入れていく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
⑤安心安全なまちづくりの推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラを2ヶ所に新設し、犯罪の未然防止に向けた環境整備を行うと共に、境港市防犯協議会や関係団体と連携した防犯パトロールの実施等、安心安全なまちづくりの推進に取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全なまちづくりの推進に向け、引き続き境港警察署や関係団体と緊密な連携を図り、防犯カメラの設置等、犯罪の未然防止のための環境整備等に引き続き取り組む。</li> </ul>		

具体的施策	(4) 荒廃農地の解消
-------	-------------

施策の展開方針		
①担い手の育成・確保	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産基盤が脆弱な新規就農者の経営安定を図るため、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施</li> <li>・就農応援交付金：1件、農業次世代人材投資資金：7件、就農条件整備事業：4件</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して各種支援制度の活用促進及び、新規就農者に対するサポート体制を関係機関と連携し強化する。</li> <li>・就農応援交付金、農業次世代人材投資資金、就農条件整備事業、農地賃借料助成事業など</li> </ul>		

施策の展開方針		
②農地流動化の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の農業公社による農地賃借事業に加え、農地中間管理事業の活用による担い手農家、新規就農者への農地集積を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理事業の活用を推進するため、農業委員会と連携し、農業経営をリタイア、縮小する農家などの出し手と、農地を求める担い手とのマッチングを図る取り組みを行う。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③農地の再生・適正管理	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国等の補助事業を活用し約180aの再生事業を実施し、若手担い手への農地集積に繋げた。</li> <li>・担い手の農地ニーズ、及び土地所有者の意向を把握し、年次的な農地再生活用計画を策定した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国等の補助事業を活用した再生事業を実施するほか、農地再生活用計画を具体化するため農業委員会と連携し、地域における話し合いを進める。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④新たな工業団地造成に伴うほ場整備	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の事業化に向け、先進事例の研究及び候補地の検討に取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、事業化の手法及び候補地の選定に取り組む。</li> </ul>		

具体的施策	(5) ごみ減量化・資源化の推進
-------	------------------

施策の展開方針		
①生ごみ分別世帯の拡大	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域会合等での説明会開催、市報等での広報、イベント時のPRを実施。</li> <li>・50グループ512世帯が取り組みに参加（平成30年度末）</li> <li>・年間回収量 63トン</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、広報を行い拡大に努める。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②使用済み紙おむつの分別収集の拡大	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム入居世帯 6施設</li> <li>・有料老人ホーム入居世帯 3施設</li> <li>・保育園 6施設</li> <li>・デイハウス 1施設</li> <li>・訪問介護利用等一般世帯 22人</li> <li>・年間回収量 59トン</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集対象の施設及び世帯の拡充と、収集体制の確立に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③清掃センターの解体及び跡地利用	評価	B
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体調査・設計、ストックヤード施設整備基本計画・設計に係る経費について平成31年度の予算化を検討したが、西部広域における「一般廃棄物処理施設整備基本構想」の策定が同年度に予定されていたため、同構想の策定動向を見定めることとし、予算化を見送った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃センターの跡地利用について、西部広域における「一般廃棄物処理施設整備基本構想」の策定動向を注視しながら、これまでの計画を精査し、将来的なごみ処理体制のあり方も含めた検討を行う。</li> </ul>		

具体的施策	(6) 防災体制の強化・整備
-------	----------------

施策の展開方針			
①防災・災害対策基盤の整備		評価	A
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップ（津波・洪水）を作成した。</li> <li>・支え愛避難所を指定避難所の一形態として位置づけるなど、地域防災計画を修正した。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線のデジタル化による更新を令和元年度は詳細設計、令和2年度に工事を実施予定。</li> <li>・中浜地区の集会所について、令和元年度から3か年で6施設の耐震改修を行い、改修後は支え愛避難所としての位置づけを検討する。</li> </ul>			

施策の展開方針			
②市民防災の促進		評価	A
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士資格の資格取得を支援して9人が取得した。</li> <li>・防災出前講座や研修会等を実施し、防災意識の高揚を図った。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士資格の取得を支援し、地域の防災リーダーの育成を図る。</li> <li>・専門家講師による防災講演会の開催や職員による出前講座などを実施する。</li> </ul>			

施策の展開方針			
③防災体制の強化		評価	A
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者などの避難行動要支援者名簿について、自主防災組織等へ配布した。</li> <li>・鳥取県等と連携して住民参加型の原子力防災訓練を実施し、地域防災計画や広域住民避難計画の実効性を向上させた。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者などの避難行動要支援者名簿について、引き続き（毎年度更新）、自主防災組織、民生委員等に配布する。</li> <li>・鳥取県等と連携して住民参加型の原子力防災訓練を実施する。</li> <li>・避難所運営訓練を実施する。</li> </ul>			

具体的施策	(7) 市民会館周辺整備（防災、市民交流、文化・芸術拠点施設）
-------	---------------------------------

施策の展開方針			
①市民意見を取り入れた施設づくり		評価	A
平成30年度取組実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度～平成30年度の2ヶ年で策定する管理運営計画において、学識経験者や市民団体の代表者等で構成する検討委員会を開催し、幅広く市民の意見を取り入れた計画策定を行った。</li> </ul>			
令和元年度以降の取組（予定）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度策定した「管理運営計画」は基本方針であり、必要に応じて、関係団体や市民の方のご意見を伺いながら具体化に取り組む。</li> </ul>			

施策の展開方針		
②財源の確保	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛省の「防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（補助率75%）」を活用し、平成29年度～平成30年度の2ヶ年をかけて実施設計を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、防衛省補助金を活用して、令和元～3年度の3ヶ年度（工期は24ヶ月）で建設工事等を行う。</li> </ul>		

具体的施策	(8) 渡漁港周辺整備
-------	-------------

施策の展開方針		
①渡漁港周辺の道路拡幅整備	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から2ヵ年で、国土交通省に委託して工事を行っていた市道渡84号線の拡幅整備に伴う樋門改築工事が8月に完成。</li> <li>・市道渡84号線の拡幅整備は、全体L=1250.4mのうち新漁港から市道渡中浦水門連絡線までのL=552.8mが完成（漁港から北側が完成）。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道渡84号線の拡幅整備は、令和元年度より新漁港から南側の整備に着手しており、令和2年度で、計画しているL=1250.4mが完成する予定。</li> <li>・旧漁港周辺道路の拡幅整備は、令和元年度は側溝などの改良工事、令和2年度に舗装工事を行い、計画しているL=613mが完成する予定。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②多目的広場・内水排除施設整備	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内水排除施設の土木本体工事に着手。（令和元年8月に完成）</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度～令和2年度：漁港周辺の道路整備</li> <li>・令和3年度～令和4年度：内水排除施設の流入水路やゲート及びポンプの整備</li> <li>・令和5年度：多目的広場の整備</li> </ul>		

具体的施策	(9) 公共施設の適正管理
-------	---------------

施策の展開方針		
①個別施設計画の策定	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に基づき、市営渡団地の下水道接続工事の計画や市営誠道団地の建替計画を推進した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は共同研究事業により、各施設の現状把握のためデータベース（施設カルテ）のテンプレートを作成する。</li> <li>・令和2年度以降、境港市公共施設等総合管理計画をベースに、施設カルテによる情報を活用し個別施設計画の策定を推進する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②安全な公共施設の管理	評価	B
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度分の定期点検については、平成30年西日本豪雨災害に係る応援派遣職員による人員不足のため、一部について未実施。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業務による点検実施も検討し、確実な点検を実施する。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③知識、技術力の向上	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築設備診断技術者講習などを受講して、知識、技術力の向上に努めた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種技術講習の受講や、共同研究事業による先進地の事例を調査するなど、効果的な施設管理のための技術力向上に努める。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④施設更新費用の縮減	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市民交流センター（仮称）新築工事の基本設計段階でLCC（ライフサイクルコスト）を比較し、機器等の選定を行い実施設計により精査し反映させた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備方針（建替え、長寿命化改修等）については、個別施設計画を適正に修正することで施設の更新費用の削減に取り組む。</li> </ul>		

基本目標	5 市民との連携による誠実な行政運営
------	--------------------

具体的施策	(1) 協働のまちづくりの推進
-------	-----------------

施策の展開方針		
①市民活動の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動センター登録団体運営協議会へ補助金を交付し、市民活動の促進を図った。</li> <li>・市民活動推進補助金を16団体へ交付し、市民活動の支援を行った。</li> <li>・日本海新聞ふるさと大賞に3団体を推薦し（全て受賞）、市民活動の広報・活性化を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動が停滞しないよう、引き続き、市民活動センター登録団体運営協議会へ補助金を交付し、市民活動の促進を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針		
②行政参加の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会168回、委員の公募7回、パブリックコメント7回実施し、また、政策提案制度として、市民の声提案箱へ74件の提案を受理した。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市民の行政参加の機会を提供していく。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③協働の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでまちづくり推進会議」において、協働の取組状況の点検を行った。また、協働を促進するため、平成30年度は「U・Iターンをしたくなるまちづくり」をテーマにして、島根大学生、境高校生、境港総合高校生を交え、意見交換を行った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「みんなでまちづくり推進会議」において、協働の取組状況の点検を行う。また、協働を促進するための取組テーマに沿った意見交換や情報収集を実施し、提言に向けた協議を行う。</li> </ul>		

施策の展開方針		
④ボランティア活動の促進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市民総合ボランティアセンターへ補助金を交付し、ボランティア活動の促進を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月よりボランティアセンター業務の観光ボランティアを除き大部分を境港市社会福祉協議会へ移管した。</li> </ul>		

具体的施策	(2) 市民に分かりやすい情報提供と広聴
-------	----------------------

施策の展開方針

①広報の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市報の文字を大きくするなどにより、読みやすく改善を図るとともに、新たな連載記事を追加するなどの充実を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市報、ホームページの内容の見直しや、くらしの便利帳の発刊など、行政情報を分かりやすく積極的に提供していくため、一層の広報の充実を図る。</li> </ul>		

施策の展開方針

②広聴の充実	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の声提案箱による市政への意見等をいただいた。</li> <li>市内7地区で開催された「市長と語る会」に参加し、多くの市民から市政に関する意見等をいただいた。</li> <li>「まちづくり若者委員会」を2回開催し、若年層から市政に対する意見をいただいた。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の声提案箱を継続して実施する。</li> <li>市長と語る会に継続して参加する。</li> <li>まちづくり若者委員会運営事業を継続して実施する。</li> </ul>		

具体的施策	(3) 行財政改革の不断の継続
-------	-----------------

施策の展開方針

①自立・持続可能な財政基盤の確立	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>枠配分方式の継続や国費等の有利な財源確保に取り組みながら、まちづくり総合プランを推進しつつ、真に必要な施策の取捨選択を行いながら、予算編成を行った。</li> <li>平成30年度決算において市債残高は121億円と前年度比で約3億円の減となっており、臨時財政対策債を除く実質的な市債残高はピーク時の4割程度に減少した。</li> <li>自主財源確保については、返礼割合の見直し等の影響により、ふるさと納税による寄附金が大幅減となったものの、水木しげるロードリニューアル事業等の取り組みにより、水木しげる記念館の入館料は対前年比約3割を超える増となった。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民交流センター（仮称）建設が始まり、その他の大型投資事業も予定されているため、引き続き「規律ある財政運営」に徹し、経費全般の節減・合理化、公債費の適正管理や自主財源の確保に努める。</li> </ul>		

施策の展開方針

②市民参加と協働による市政の推進	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>審議会の公開、委員の公募、パブリックコメントのほか、「市民の声提案箱」（政策提案）や「市長と語る会」（出前座談会）の実施により市民参加の機会創出を図った。</li> <li>事業委託、共催・後援、補助・助成、事業協力、情報交換・情報提供などの様々な形態で協働に取り組んだ。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、市民参加と協働による市民に開かれた、市民本位の市政推進に取り組む。</li> </ul>		

施策の展開方針		
③職員一人ひとりの意識改革	評価	A
平成30年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の独自研修では、待遇研修やメンタルヘルス研修、人事評価研修を実施するほか、新たに若手職員を対象としたキャリアデザイン研修を開催した。また、鳥取県職員人材開発センターが実施する職員の階層や経験年数に応じた階層別研修（新規採用職員研修、新任課長研修など）及び専門的な知識を深める専門研修（法務研修、クレーム対応など）への受講を推奨するとともに、国際文化研修所（全国の市町村等職員が集まる研修施設）におけるより高度な専門研修（自律的な財政運営、子どもの貧困対策など）に参加し、職員の能力向上に努めた。</li> <li>・中海・宍道湖・大山圏域市長会において、圏域内の地方自治体職員と経済界が共同で実施した人材育成研修に参加し、職員の人材育成を図った。</li> </ul>		
令和元年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の独自研修を充実させるとともに、引き続き、鳥取県人材開発センターや国際文化研修所等が実施する専門研修等に積極的に参加し、職員の能力向上を図る。</li> <li>・中海・宍道湖・大山圏域市長会で実施する官民共同研修にも取り組み、人材育成を図る。</li> </ul>		